

②アセスメント表

記録：相談支援センターひまわり 相談支援専門員：六本木はやと

相談日時	令和元年8月22日13時～15時
氏名等	水道橋 久氏、22歳 男性 知的障害（軽度） 障害支援区分 3 （月1回精神科受診）
望んでいる暮らし	全体 「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」 「困りごとは相談したい」 「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」 生活面 「自分のことは自分でできるようになりたい」 「将来は一人で暮らしたい」 「今は朝、なかなか起きられない」「掃除や洗濯、調理ができない」 「一緒に遊ぶ友達が欲しい、昆虫の話ができる友達ができれば最高」 就労面 「3年後ぐらいにはまた働きたい」 「今は働くことに自信はないので力をつけたい」 「1人でコツコツと集中できる作業が好き」 「働くときには優しい上司がいるところが良い」
心身の状況	身長175cm 体重80キロ 特に問題ない。久さんは最近肥満体形になってきているのを気にしている。
精神面の状況	突然怒り出したりすることは、以前に比べれば少なくなってきた。自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラする感じが見られる。 見た目は大人しそう。高校時代の担任の先生は「普段は、穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。
生活の自立度	朝起きるのが苦手で生活リズムがなかなか安定していない。ADLは自立している。 家事は手先が器用なので練習すればできるようになるのではないか。やり方や手順について確認する必要がある。
気持ちの自立度	家を離れた暮らしは全く経験したことがないので、始めは戸惑うことがあると思われる。また、自分の思い通りにならないと、他の方とトラブルになる可能性があるので、イライラしそうなときには早めに職員に伝えられるとよい。
服薬状況	夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理ができるように練習している。
経済状況	【収入面】 生活保護 【支出面】 グループホームの費用 家賃 30,000 円（家賃補助 10,000 円） 食費 20,000 円 高熱水費 15,000 円

	<p>日用品費 3,000 円 生活費（おこづかい）20,000 円</p> <p>金銭管理は、仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。</p>
趣味	<p>昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。菓子・ケーキ等の買い物など。</p>
キーパーソン	<p>父親。交通事故で右半身に麻痺があり自分のことで精一杯な様子。</p>
家族	<p>父、弟と同居。母は父と離婚後、別居。</p> <p>父方の祖母は県外（遠方）にいる。母方の祖父母は他界している。</p> <p>両親と暮らしていた頃は、年1回は家族で父方の祖父母に会いに行っていた。</p>
就労	<p>手先が器用で興味をもつと集中できる。面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。しかし、以前の工場での仕事の経験から「人に会うのが怖い」「また注意されるのが心配」と不安感がある。「1人でコツコツと集中できる作業が好き。」「働くときには優しい上司がいるところが良い」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」といずれしっかり働きたいという意欲はある。移動手段は、徒歩。公共交通機関は、これまでほとんど利用したことはないが、練習しだいでは利用できそうである。</p>